

北松農業高等学校における食農教育



北松農業高等学校は、昭和20年に開校された県北唯一の農業高校である。これまでに10,369名が卒業しており、県内をはじめ全国で活躍をしている。現在4学科に443名が在籍しており、農場での実習をはじめ日々学習に取り組んでいる。

「食農教育」の実践

「食農教育」の基本となるのが、北農アクションプランである。このアクションプランは「農と食と生活」をキーワードに、5つの行動と10の具体策からなっており、この計画に沿ってエコロジカル・ハイスクールの実現に向けて努力している。つまり本校の食育は、農業教育の延長線上にある食育であり、その意味で「食農教育」というとらえ方をしている。



北農アクションプラン…「5つの行動」「10の具体策」



- (1) 持続可能な循環型社会に向けて環境・農業教育を目指す。
環境・農業教育の推進 食の安全・安心教育の徹底
- (2) 心の教育・命の教育・食の教育を率先して行う。
心と命の教育推進 地産地消・食農教育の推進
- (3) 経営能力や基本的な農業技術能力を持った人材を育成する。
優れた農業後継者の育成 キャリア教育の推進
- (4) 地域貢献・地域連携・地域共生を実践する。
積極的な奉仕活動推進 開かれた学校づくりの推進
- (5) 農業教職員の資質向上、農業教育活動の普及・支援を行う。
積極的な農業教育の普及 農業教職員の資質向上

生徒に向けた食農教育(主なもの)

<専門科目の中での実践>

- (1) 1学年全員による茶摘み実習・・・その後製茶製造、販売
- (2) 産業動物としての牛の出産介助・・・命と食の大切さ
- (3) 学校生産物等を活用した調理・製造実習・・・地産地消
(やさしいスイーツ、米茶加工、ザボンジャム、仔ゴジヤム、トマトジュース、ミカジュース等)
- (4) お魚料理講習会の開催・・・ながさき地産地消推進事業
- (5) 民間講師招へい事業・・・郷土料理の調理体験等
- (6) 調理腕前の向上・・・食物調理検定
- (7) その他・・・味噌製造実習、古代米(黒米)栽培、伝統野菜の継承(平戸木引カブ)



地域等に向けた食農教育(主なもの)



- (1) 小中学校教職員を対象とした「食農講座」の開催
- (2) 地域の方を対象とした「成人大学講座」の開催
- (3) 小中学生(含:特別支援学校)を対象とした「交流学习会」の開催
- (4) 地域イベントでの「プロジェクト発表」
- (5) 佐世保特別支援学校北松分教室との交流(茶摘み、ぶどう狩り、調理実習、牛の出産立会)